

寄居子ども博士7人誕生！

10月26日に行われた「第17回寄居子ども博士検定」では、町内の小学4～6年生、12人が受検し、7人の博士が誕生しました。この検定は、寄居町の歴史や地理、政策、生活等、町のあらゆる分野に関する知識を問う検定です。見事100点で博士認定となった寄居小学校の坂本紗彩さんは「おとしは1週間違えてしまい、去年は受けられなかったの、やっとリベンジできました。満点が取れてうれしいです」、内藤結心さんは「博士検定のおかげで、寄居町のことを詳しく学べたので、もっとたくさんの人に、検定を受けてほしいです」と話してくれました。

第17回寄居子ども博士検定 博士認定者			
氏名	得点	備考	
坂本 紗彩 (寄居小6年)	100	2回目の認定	
内藤 結心 (寄居小6年)	100	初の博士認定	
齋藤 結依子 (寄居小6年)	98	初の博士認定	
茂木 ひまわり (寄居小4年)	96	初の博士認定	
松村 純平 (寄居小5年)	94	初の博士認定	
小淵 華菜 (用土小5年)	94	初の博士認定	
久保 結香 (用土小5年)	90	初の博士認定	
※90点以上で子ども博士認定			



写真左:小淵さん、写真右:久保さん



写真左から 齋藤さん、坂本さん、茂木さん、内藤さん、松村さん

第17回
寄居子ども博士
検定

男衾小・中学校の児童・生徒で 巨大人文字2次元コードを作成しました



男衾小学校と男衾中学校の児童・生徒が協力し、男衾中学校の校庭に巨大人文字2次元コードを作成しました。この2次元コードを読み取ると、町公式ホームページが開き、撮影したPR動画をご覧いただけます。また、同ページに「寄居ふるさと探究学」の一環として、町内3中学校の生徒が作成した動画を随時公開していきます。



読み込めない
方はこちら

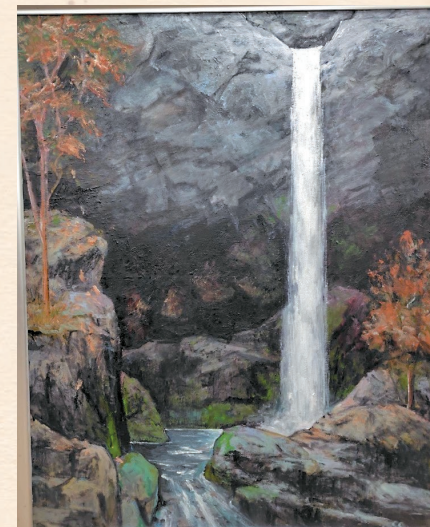


寄居町
合併70周年記念事業
巨大人文字
2次元コード撮影

町から4人が日展入選！

国立新美術館(東京都)で10月31日～11月23日に開催された「第118回日本美術展覧会」に、町から洋画部門で柴崎恵子さん(岩崎)、大谷充秀さん(本村)、工芸美術部門で中市後達夫さん(末野4)、書部門で加藤祐司さん(常木)の作品が見事入選されました。今回初入選された柴崎さんは「念願であった日展に初入選しました。これからも精進したいと思います」、大谷さんは「川の流れと背景を描くのが大変でした」、中市後さんは「紅葉の色合いを出すのに苦労しましたが、土のぬくもりとともに秋の気配を表現しました」、加藤さんは「夏目漱石の人生の無常観、その響きを淡墨と細い線で運筆しました」と話してくれました。

第118回
日本美術展覧会



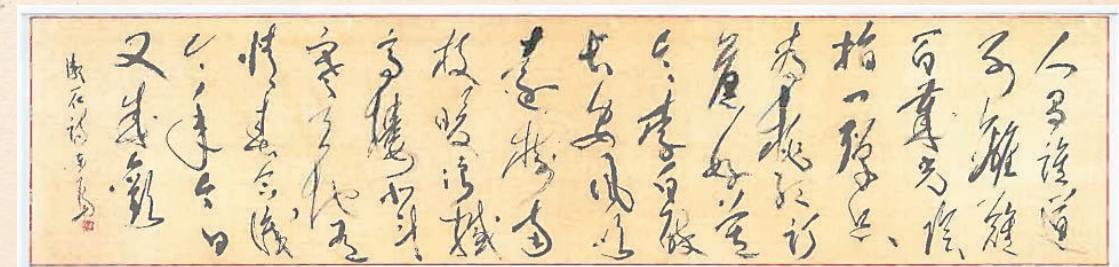
柴崎恵子さん 「晩秋の滝」



大谷充秀さん 「早春の風布川」



中市後達夫さん 「紅葉」



加藤祐司さん 「夏目漱石詩」